



# さくらたより

令和3年度 学校だより  
NO. 11  
令和3年9月22日発行  
山形市立桜田小学校

## 運動会スローガン

## 団結・全力・勝利

今年度の運動会スローガンです。実行委員会が、時間をかけて練り上げました。スローガンには次のような思いが込められています。



校舎に掲示

団結 = [組全体がまとまって、気合いを高めて戦ってほしい]

+

全力 = [今までの練習の成果を發揮してほしい] [最後まであきらめずに戦ってほしい]

=

この二つがそろうことで『勝利』につながる

## 結団式

9月14日（火）は、放送による各教室へのライブ配信で“結団式”が行われました。実行委員長の話、組頭の話、応援団員の自己紹介、そして各教室へ出向いた応援団員が、各組のチームリーダーにはちまきを手渡しました。「チーム、よろしく頼みます」と、言葉を添えて。閉会の言葉では「(放送なので)顔を合わせることはできませんが、“実行委員・応援団員の思い”は伝わったと信じています。」と締めくくりました。



視聴覚室から配信

本来であれば各組が集合して、リーダーたちの立ち居振る舞いや全体の雰囲気を感じながら「やるぞ!」という気持ちを高める場であるのですが、コロナ禍で「放送による結団式」になりました。でも、この閉会の言葉に「私たちはできることを工夫し準備したのだ」という自負が伺え、運動会を創り上げているリーダーとしての心意気を強く感じました。



各教室ではテレビを視聴

## 行事で育つ

「行事が子どもたちを育てる」とよく言われます。運動会は、個々、そして集団が育つきっかけとなる絶好の学校行事だと考えています。

**体**が鍛えられる

競うことを通し、普段の生活より多く体を使います。走力を中心に、全力を出し身体を動かすことで、たくましい体がつくられていきます。

**心**が耕やされ鍛えられる

自分と向き合う (やるべき事をやる、全力を出し切る心地よさを味わう等々)

仲間と競い合う (潔く負けを認める、勝ってもおごらない等々)

仲間と協力する (一緒にものごとを創っていく心地よさを味わう等々)



チームリーダーへ



応援用具係

## 係活動に誇りをもって

14日の放課後から、運動会の係活動が始まりました。今年度は5・6年生146名が、実行委員・応援団・応援用具・応援看板・放送・グラウンドキーパー・準備運動・広報用具に分かれ、仕事を担

い『みんなで創る運動会』を目指します。

放課後は活気に満ちた時間。それぞれが自分の係の仕事に誇りをもち、楽しんで動き回っています。運動会当日、保護者の方々からはなかなかこの活動が見えてこない係もあるのですが、‘縁の下の力持ち’としてがんばっていることも想像していただきながらご覧ください。

## 「リーダー」が育つために

子どもたちがあこがれるのが、応援団員やチームリーダーといった役です。立候補し、選んでもらうために「みんなをまとめます。引っ張っていきます。」等の演説をして、選ばれ、みんなの前に立って事を進める役を担います。5・6年生は、係活動の中でもリーダーの役を担う子が出ます。

リーダーは、他の子どもたちから見られています。メンバーは練習時等に、リーダーが先頭に立って進める様子だけではなく、「普段の生活のしかた」を、「今回自分たちが選んだリーダーは、きちんとリーダーとしての役割を果たしているのか？」と見ています。

私たち教職員は、運動会を、選ばれたリーダーを育てる機会と位置づけていますので、厳しく迫る場面もあります。「選ばれて終わりではないでしょ。あなたの生活のしかたはどうなの？」「前に出たときに何も言えなかったのは、見方が甘かったり、準備不足だったりだからでしょ。」「言葉はカッコいいけど、何も動いていないんじゃない。」などと。

私たちが常に念頭に置いているのが — “子どもが自ら主体的に判断して行動できるようにする” ために、教師はどのような働きかけをすればよいのか — です。みんなの前に出たリーダーが何もできずにもじもじしてしまう経験をさせることも、指導の一方法です。その失敗をふり返ることで強くなっていく子がいます。逆に、失敗させないように入念に事前指導する子もいます。私たちは、個に応じて、指導の手を変えています。



応援看板係



グラウンドキーパー係



朝低学年練習

## 「メンバー」も育つために

リーダーだけが育つ行事ではありません。リーダーを支えるメンバーも育っていきます。「あなたがリーダーね」とはしごに登らせておいて、そのはしごを支えずにいたら、すぐに倒れてしまいます。はしごを支える、リーダーを支える人たちが大切です。

「やろうよ！」とのリーダーの言葉に対し、いつも反抗的で従わなかったら、リーダーはつぶれてしまいます。また、従順ばかりでもダメで、時にはリーダーにもの申すことで、より良いものが創られていきます。よきメンバーがいて、集団は高まっていきます。そのメンバー育ちのためにも、私たち教職員は、目配り気配りし、指導しています。



学年部種目の練習

## 10月2日（土）運動会

このような取り組みを、あと1週間続けます。これらの経験をしてたくましくなった子どもたちの姿をご覧くださいませよう、今は祈る（コロナ感染症・天気）ばかりです。

## リーダーは 入れ替わる

今回は運動会を例に書きました。リーダーとそれを支える人は、いろいろな取り組みをする中で常に入れ替わります。だからこそ、学校では様々な取り組みを行っているのです。運動会では支える側に回った子が、日常の学習でリーダーになったり、たてわり班活動で掃除や遊びのリーダーになったりします。運動会でリーダーだった子が、次は支える立場で指示に従ったりリーダーにもの申すことも経験します。

このようにしてお互いの立場を理解し合い、“その時”に取るべき考え方や行動を学んでいきます。